

## スクリーンパーティション 片開きドア



## チェックシート

組立・取付時、本文中に表示している「チェックマーク 」の確認をしてください。



	項目	チェック欄
①	取付開口部の確認をしましたか？	
②	ねじを止める箇所にスペーサを入れましたか？	
③	取付後、点検をしましたか？	



ラフォレスタ 室内ドア ドア本体  
ピボットヒンジを変更しました。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

## 目次

■組立・施工の前に	1
■開口部の確認	2
 ■同梱内容一覧	2
■施工前の確認	3
■枠の取付	4
■沓摺の取付（オプション）	4
■戸当り材の取付	5
■枠側ピボットヒンジの取付	5
■内装仕上げ材の施工	5
 ■扉側ピボットヒンジの取付	6
■扉本体の吊込み	7
■錠セットの取付	7
■扉本体通風部操作部品の取付（T デザインの場合）	7
■建付調整	8・9
■錠受の調整	9
■点検	9
■ルーバー・ホルダーの取替方法（ルーバー・ホルダーの破損時）	10
■納まり参考図	11・12

## ■組立・施工の前に

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

### 組立・施工の前に…

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。  
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

### 組立・施工の後に…

取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

### お願い

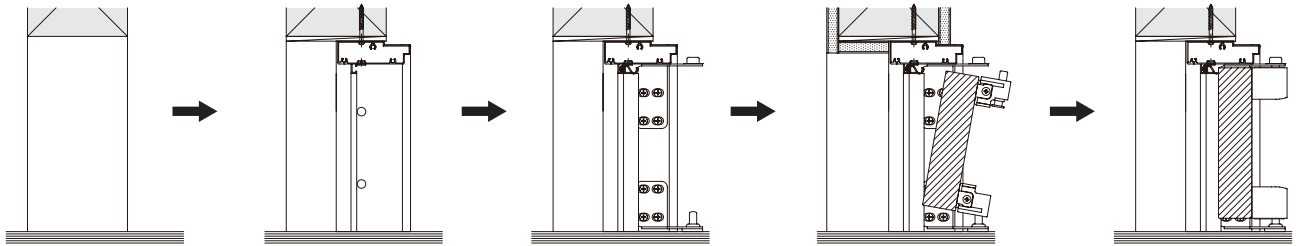
- 開梱後、商品に損傷がないか必ず確認してください。
- 商品の保管は、湿気や直射日光のあたる場所を避けてください。
- ひっかけ傷、打痕をつけないよう十分に気をつけてください。
- 本体に粘着力の強いテープ等を貼らないでください。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれないことをご確認ください。  
取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 組立・施工の際は、床・壁等の破損や汚れに十分に注意して、保護シート等の配慮を行ってください。
- 施工は、2人以上で行ってください。
- 組立・施工は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。  
締め付け不良は事故の原因になります。
- 部品（ねじ等）は定められたものを使用してください。
- ねじの締め付けは、クラッチ付きのドライバーを使用してください。  
トルクが強すぎる場合、部材の変形、ねじが空回り・頭飛び・つぶれる可能性があります。
- むやみに改造や変更はしないでください。
- 組立・施工完了後、説明書の方法通り、調整が行われていることを確認してください。  
調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 施工完了後は、清掃を行い、ゴミ、異物、汚れがないことを確認してください。
- 本体に使用されるアクリル面材は非常に傷付きやすいので取扱いには十分、ご注意ください。
- 本商品は室内専用ドアです。屋外、浴室等での使用はできません。

スクリーンパーティション 片開きドア本体にはクローザは取付けられません。  
クローザを取付けたことによる不具合については、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
また、その際の修理・点検については、保証期間内であっても、実費請求となります。



## ■施工前の確認

### ●施工の流れ



商品W・H寸法より5mm大きく躯体開口部を施工してください。  
(枠のねじ止め部にはスペーサを入れてください)

躯体と枠をねじで固定し、穴塞ぎキャップを取付けてください。

枠に戸当たり材、ピボットヒンジなどの部品を取付けてください。

躯体の壁仕上げ材の施工後、扉本体を枠に吊込み、ハンドルを取付けてください。

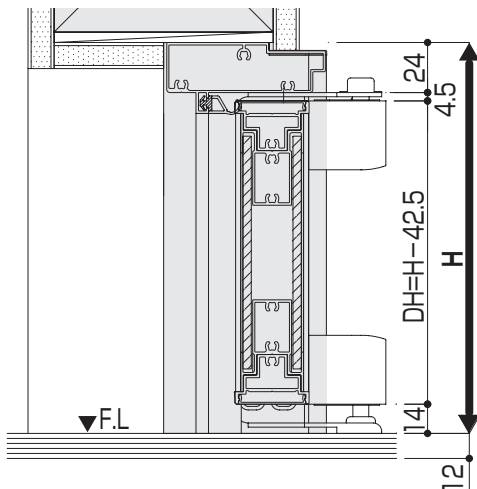
ピボットヒンジカバーを取付けてください。

### お願い

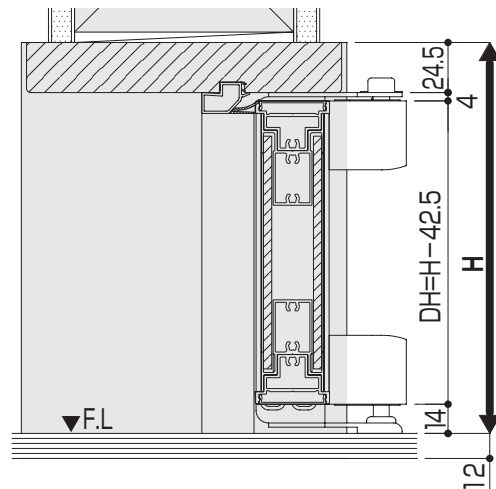
ピボットヒンジ下部が床に接するように取付けてください。床から浮いてしまう場合は、スペーサを入れてください。

### ●H寸法の取り方

#### アルミ枠の場合

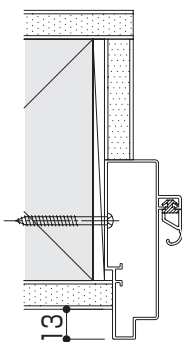


#### 木質枠の場合



▼F.L.から上枠上端までがH寸法です。たて枠は床上に乗せて施工してください。

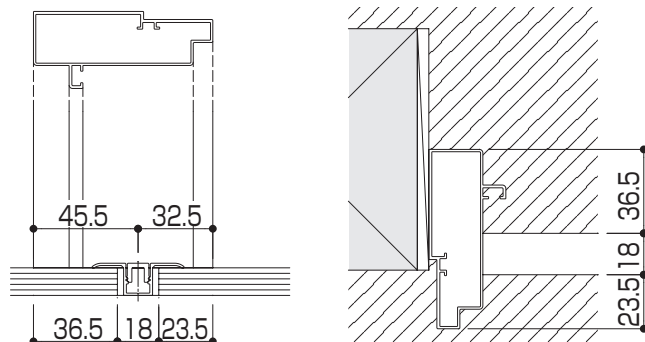
### ●アルミ枠のチリ寸法について



壁の仕上げ面から13mm(標準)以内に納めてください。

### ●アルミ沓摺使用時の床貼込み寸法

下図の寸法で床を切欠いてください。



### お願い

沓摺下部下地材は全長に入れ、上からの荷重で沈み込まないように補強してください。

# 4 枠の取付 / 沓摺の取付

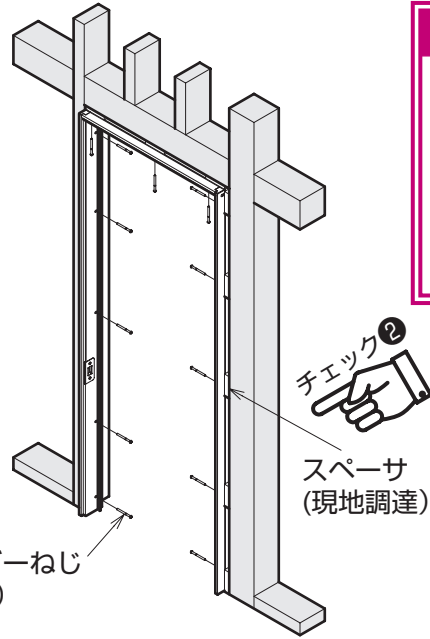
## ■ 枠の取付

### ① 枠を固定

アルミ枠(通風機能付)の場合は、たて枠部のみねじ止めしてください。

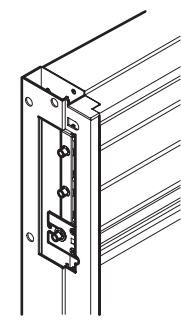
### ポイント

枠にフクレ、ツツミがないようにねじ止め箇所へスペーサを入れてください。

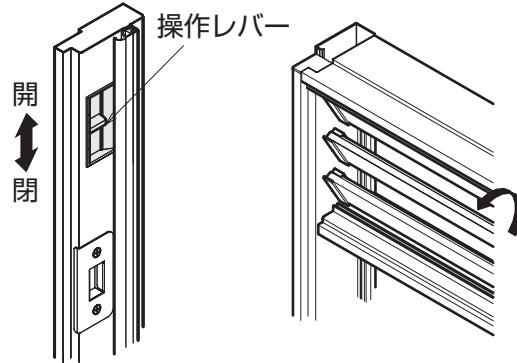
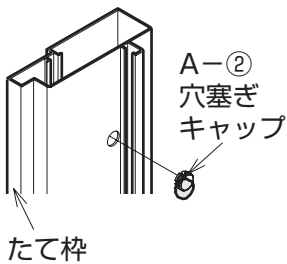


**注意**  
取付時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
**2.0~2.5N・m**  
(20~25kgf・cm)程度

### アルミ枠(通風機能付)の場合



### ② 穴塞ぎキャップ取付



取付後、ルーバーが正常に開閉できるか確認してください。

**お願い**  
たて枠内部には操作機構部品が内蔵されています。躯体等が操作機構部品に干渉しないよう、またホコリ等が入らないよう注意してください。

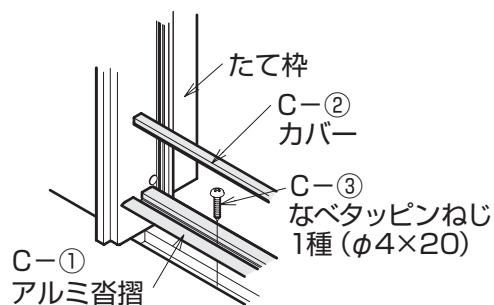
## ■ 沓摺の取付 (オプション)

### ① 沓摺の取付

床材のすき間に沓摺をはめ込み、ねじで固定してください。

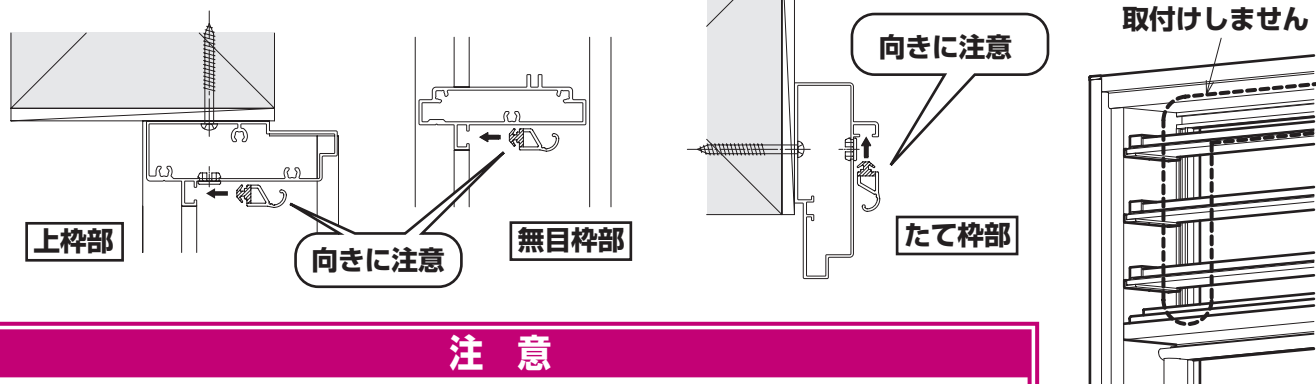
### ② カバー材の取付

入りにくい場合は、当て木などの上から叩いてください。



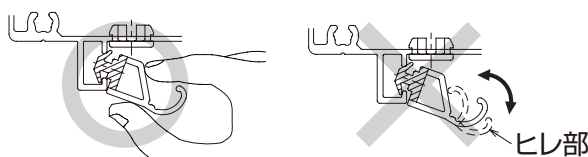
## ■戸当り材の取付

上枠(無目枠)→たて枠の順で取付けてください。  
(ルーバー部には取付けしません。右下図)

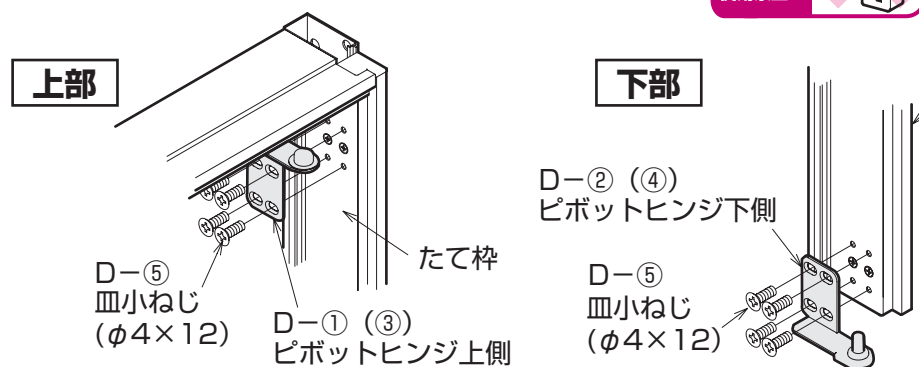


### 注意

戸当り材取付時、ヒレ部を上から押さえたり、引っ張るなどの負荷をかけないでください。戸当り材の波打ちの原因となります。



## ■枠側ピボットヒンジの取付



図は右勝手の場合を示しています。  
( )内は左勝手の場合です。

### お願い

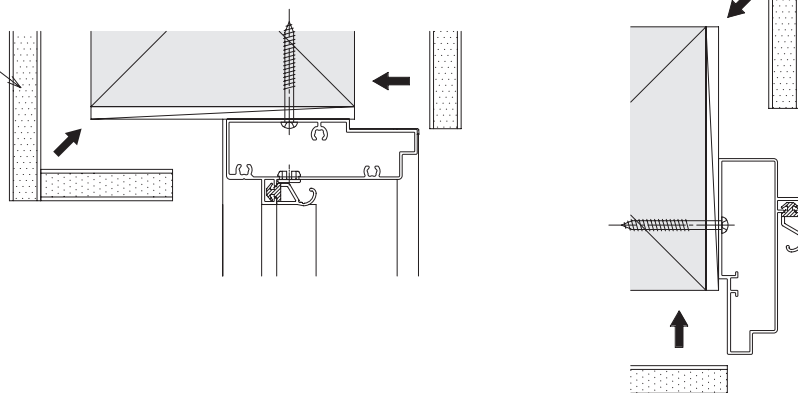
ピボットヒンジ下部が床に接するように取付けてください。  
床から浮いてしまう場合は、スペーサを入れてください。

## ■内装仕上げ材の施工

石膏ボード等

### お願い

石膏ボード等の内装仕上げ材は、枠を躯体に取付けた後に行ってください。

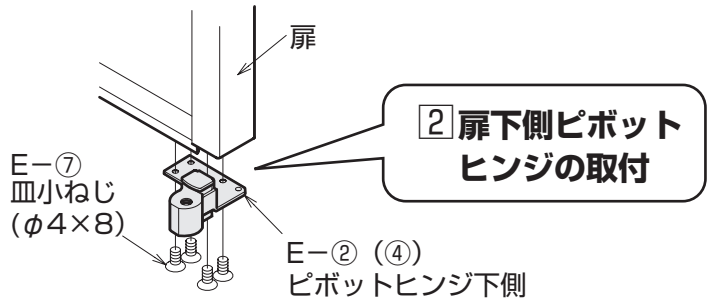
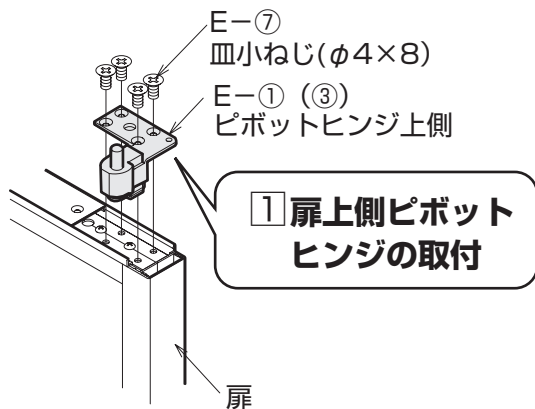


# 6 扉側ピボットヒンジの取付

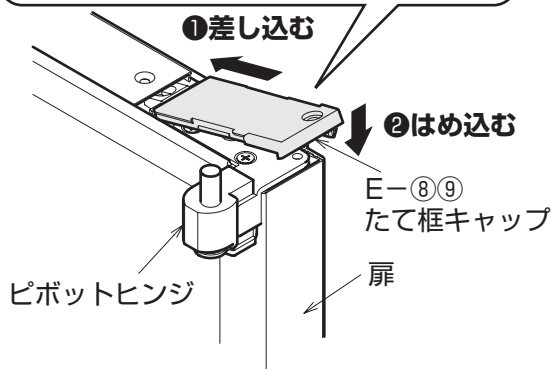
## ■扉側ピボットヒンジの取付



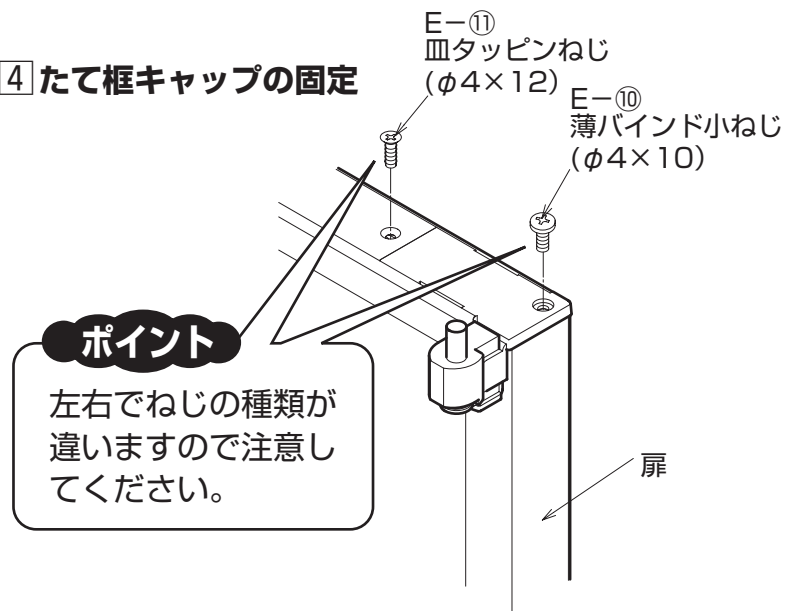
スクリーンパーティション 片開きドアの場合



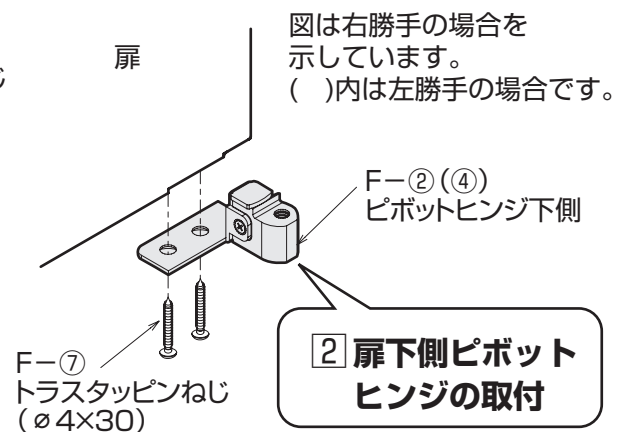
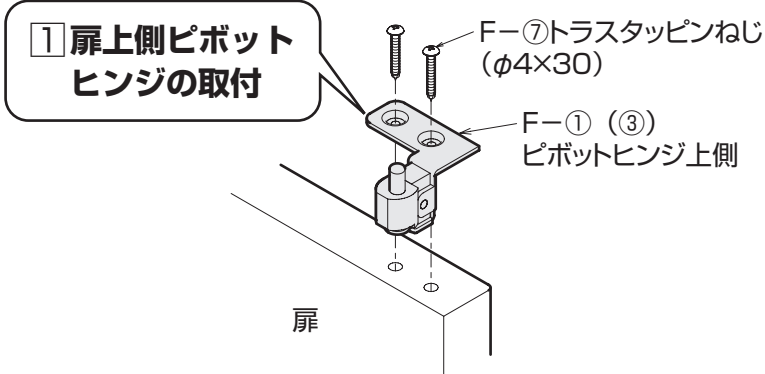
3 たて枠キャップの取付  
扉上下のピボットヒンジ部に取付けてください。



4 たて枠キャップの固定

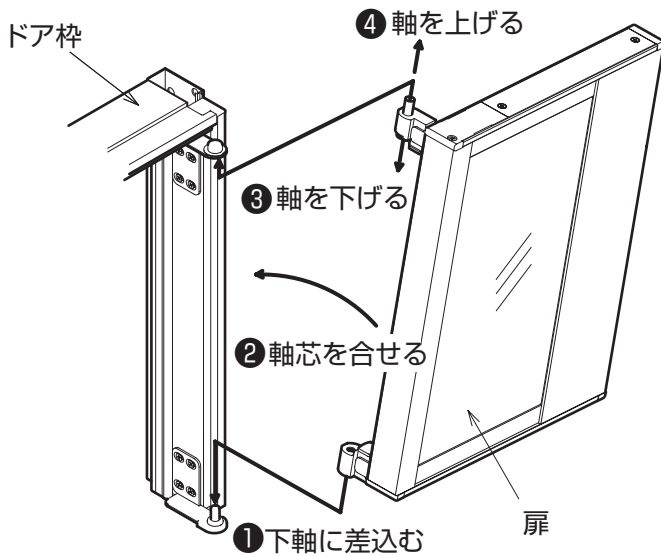


ラフォレスタ 室内ドアの場合



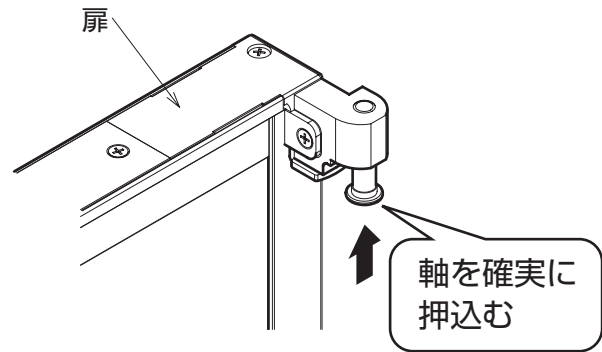


## ■扉本体の吊込み



### 注意

枠上側ヒンジ軸受け内に、軸を確実に入れてください。軸が入らないまま使用すると、**軸が抜け、扉が倒れる危険**があります。



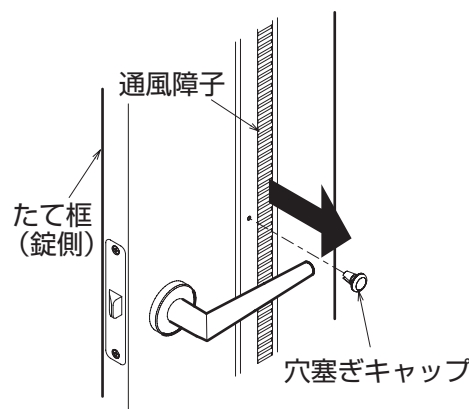
## ■錠セットの取付

錠セット付属の取付説明書を参照し、取付けてください。

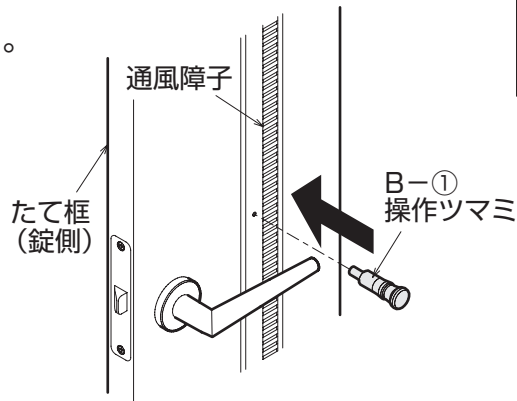
## ■扉本体通風部操作部品の取付 (T デザインの場合)

① 操作を行う面 (扉の開く側、閉じる側どちらの面にも取付可能) を選択してください。

② 操作を行う面の穴塞ぎキャップをはずしてください。

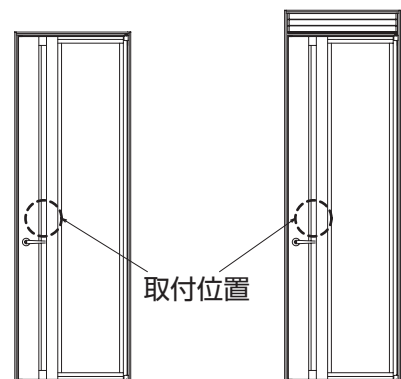


③ 操作ツマミを取付けてください。



### お願い

操作ツマミは、ゆるみ防止のため、きつく締めてください。



図は右勝手 開き側への取付の場合を示しています。

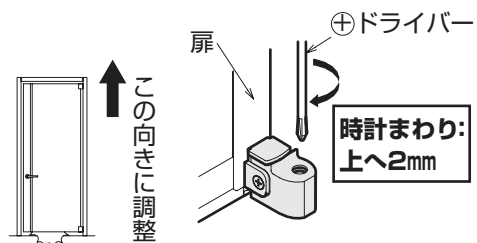
# 8 建付調整

## ■建付調整



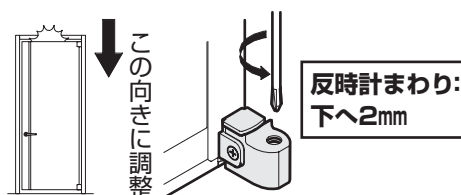
### ① 上下調整

●扉の下部が床をこすった場合、  
下部すき間が小さい場合



扉下部ピボットヒンジの調整ねじを時計まわりにまわしてください。

●扉の上部が枠をこすった場合、  
上部すき間が小さい場合



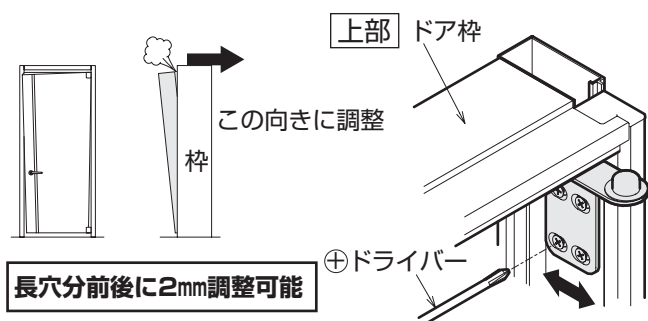
扉下部ピボットヒンジの調整ねじを反時計まわりにまわしてください。

### ポイント

ねじが固い場合は、扉を持ち上げ、ねじに扉の重量がかからないようにすると簡単に調整できます。

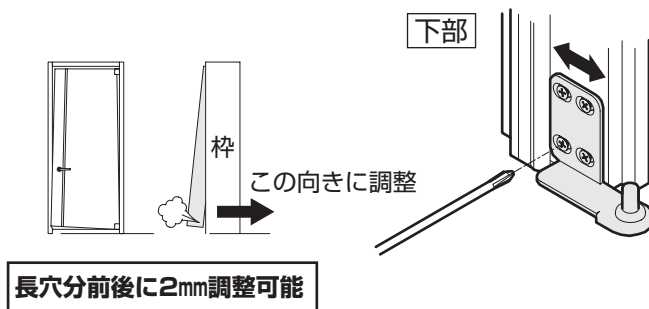
### ② 前後調整 調整は上・下部とも行ってください。

●扉上部と戸当り材との当たりが弱い場合



枠上部ピボットヒンジのねじをゆるめ調整してください。調整後は、しっかりとねじを締めてください。

●扉下部と戸当り材との当たりが弱い場合



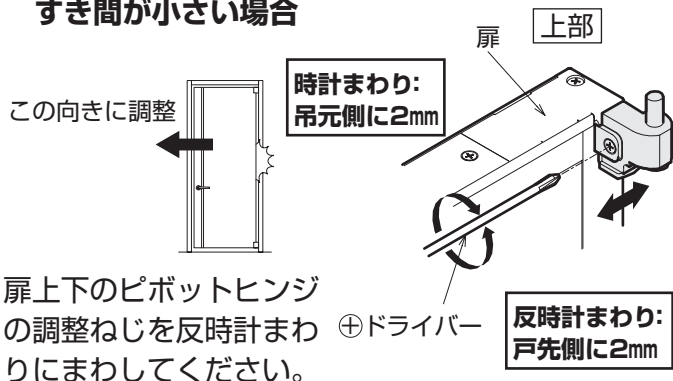
枠下部ピボットヒンジのねじをゆるめ調整してください。調整後は、しっかりとねじを締めてください。

### 注意

ねじは2回転以上ゆるめないでください。扉がはずれるおそれがあります。

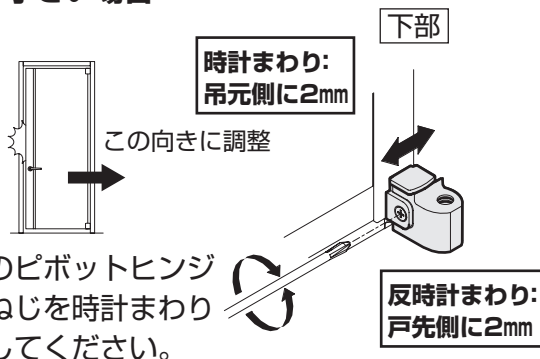
### ③ 左右調整

●扉の吊元側が枠に当たる場合、  
すき間が小さい場合



扉上下のピボットヒンジの調整ねじを反時計まわりにまわしてください。

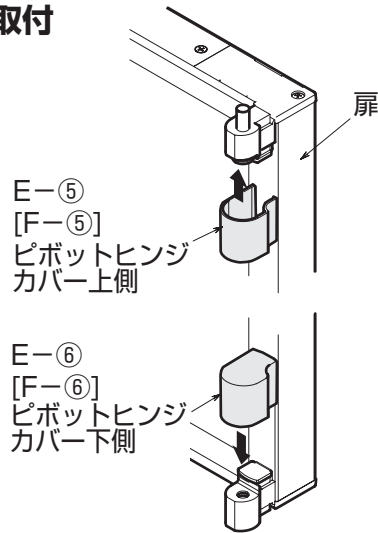
●扉の戸先側が枠または錠受けに当たる場合、  
すき間が小さい場合



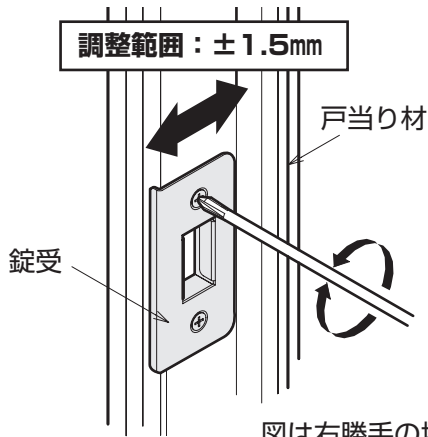
扉上下のピボットヒンジの調整ねじを時計まわりにまわしてください。

## 4 ピボットヒンジカバーの取付

[ ]内はラフォレスト室内ドアの場合です。



## 錠受の調整



上下のねじをゆるめて、錠受の調整をしてください。調整後、ねじを締め付けてください。

### 扉がガタつくとき

戸当り材側に移動させてください。

### 扉がかからないとき

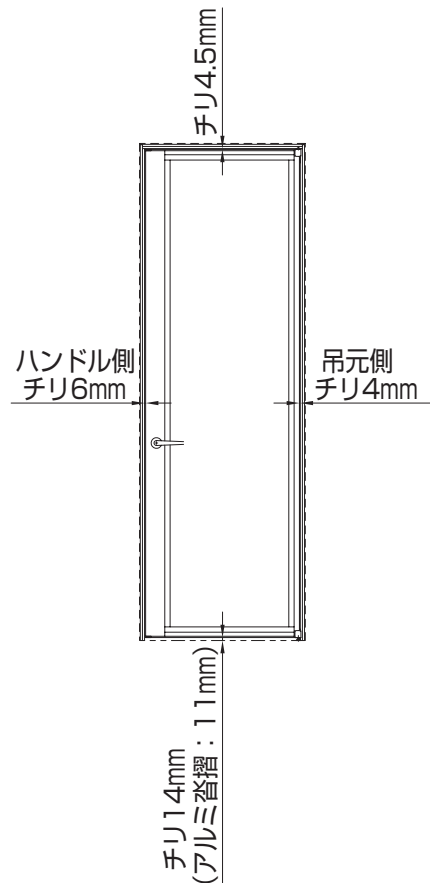
扉が開く側に移動させてください。

図は右勝手の場合を示しています。

## 点検

### 枠と扉のチリ寸法の確認

- 開閉はスムーズか？
- 施錠・解錠に問題はないか？
- 枠、扉にねじれや転びはないか？
- 通風枠仕様時、ルーバーの動きに問題はないか？



# 10 ルーバー・ホルダーの取替方法（ルーバー・ホルダーの破損時）

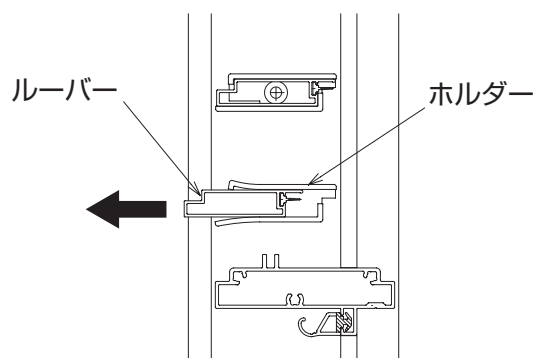
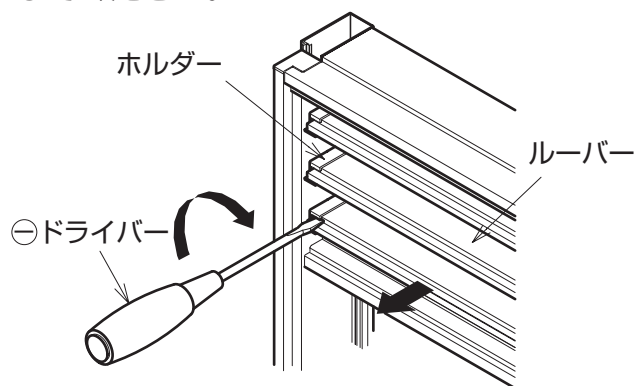
## ルーバー、ホルダーの取替方法（ルーバー・ホルダーの破損時）

### 注意

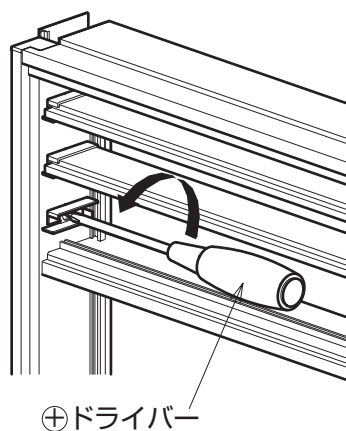
- 取替は、必ず、ルーバー1枚ずつ行ってください。  
ホルダーが取付けられなくなるおそれがあります。
- ドライバーで破損しないよう、布等で保護しながら行ってください。

① ルーバーを90°開けた状態にしてください。

⊖ドライバー等を図の位置に当て、軽く回転させ、左右のホルダーを広げ、ルーバーをはずしてください。



② ホルダー取付ねじをはずし、ホルダーをはずしてください。  
(吊元側のホルダーはそのままはずれます。)



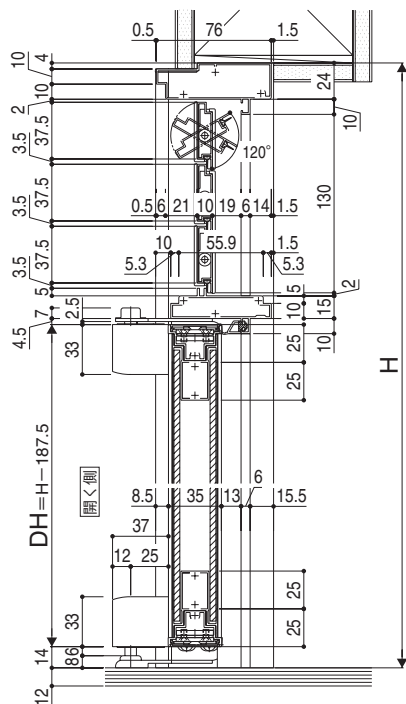
### ポイント

取替は1個ずつ行い、2個以上はずすときは、1個を取替後、次のホルダーをはずしてください。

③ 取付けは、逆の手順で行ってください。

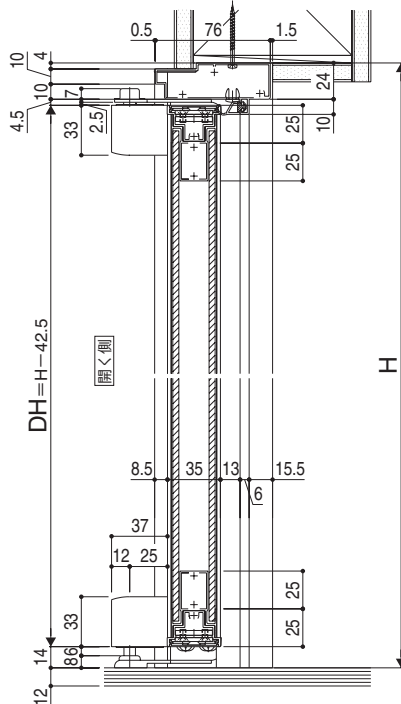
## ■納まり参考図

### ■アルミ枠(ピボット)通風機能付



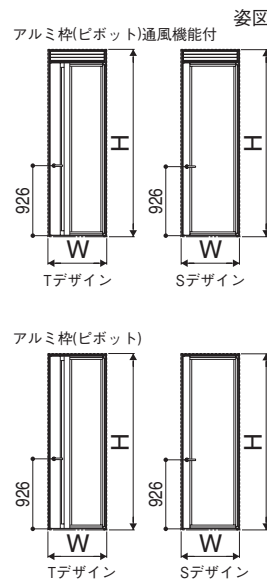
●天井付納まり

### ■アルミ枠(ピボット)

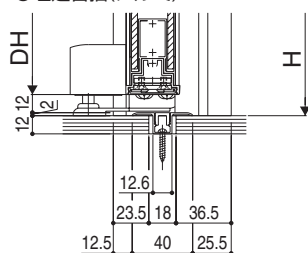


●天井付納まり

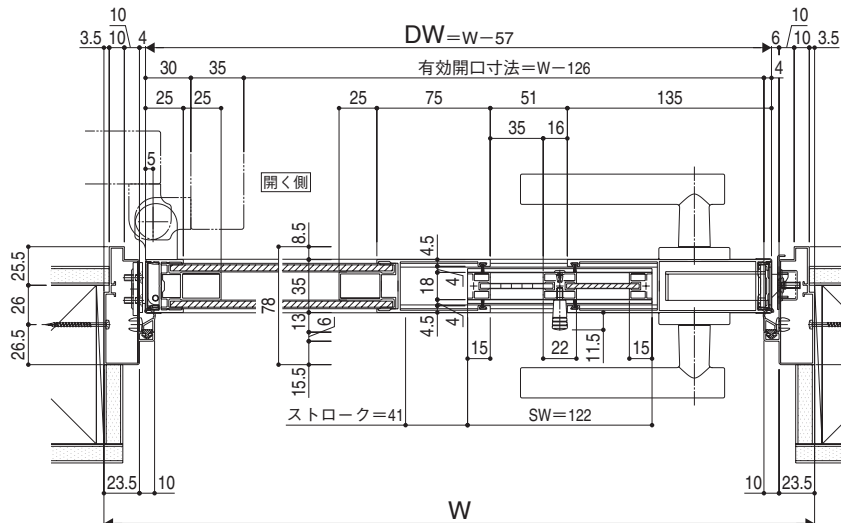
<右勝手の場合>



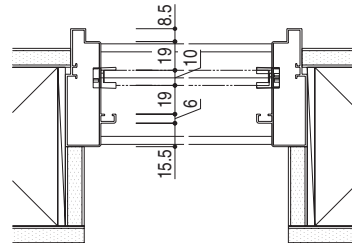
●埋込沓摺(アルミ)



●横断面 Tデザイン



●ルーバー部



#### 基本寸法表

#### アルミ枠(ピボット)通風機能付

W呼称	073	075	077	082	087
W(DW)	733(676)	752(695)	778(721)	823(766)	878(821)
有効開口寸法	607	626	652	697	752
H呼称	21	25			
H(DH)	2178(1990.5)	2545(2357.5)			

#### アルミ枠(ピボット)

W呼称	073	075	077	082	087
W(DW)	733(676)	752(695)	778(721)	823(766)	878(821)
有効開口寸法	607	626	652	697	752
H呼称	20	24			
H(DH)	2038(1990.5)	2402(2357.5)			

※アルミ枠は、たて枠の切断は不要です。

#### DW、有効開口、DH寸法算出公式

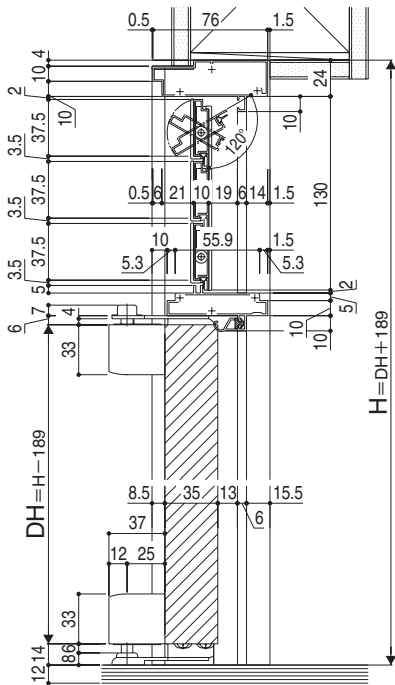
アルミ枠(ピボット)	DW = W - 57
有効開口 = W - 126	
通風機能付	DH = H - 187.5
アルミ枠(ピボット)	DW = W - 57
有効開口 = W - 126	
	DH = H - 42.5

## ■片開きドア アルミ枠(ピボット)通風機能付・アルミ枠(ピボット)ノンケーシングタイプ

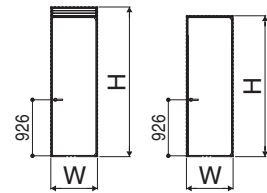
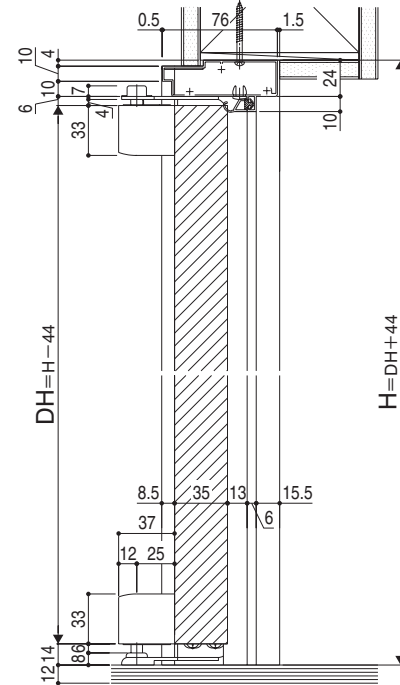
<右勝手の場合>  
姿図

●たて断面図

アルミ枠(ピボット)通風機能付

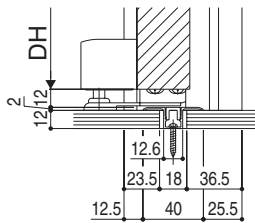


アルミ枠(ピボット)



[床先貼]

・埋込沓摺(アルミ)



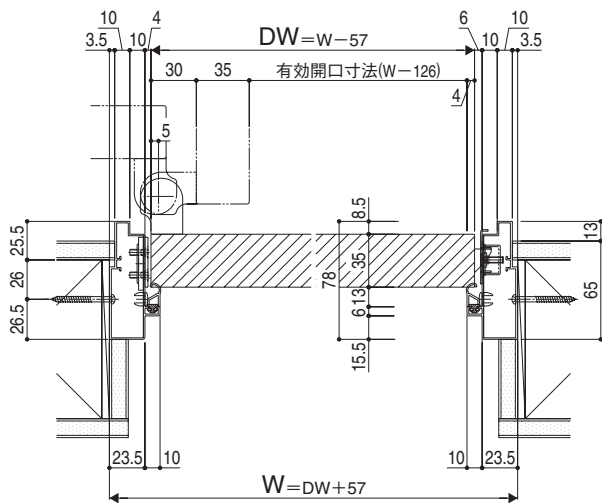
基本寸法表(ドア本体を規格品DW・DHとした場合の枠寸法表です)  
・アルミ枠(ピボット)通風機能付

基本寸法 (mm)	片開き				
	W呼称	073	075	077	082
W(DW)	733(676)	752(695)	778(721)	823(766)	878(821)
有効開口	607	626	652	697	752
H呼称	20		22		
H(DH)	1.978(1.789)		2.178(1.989)		

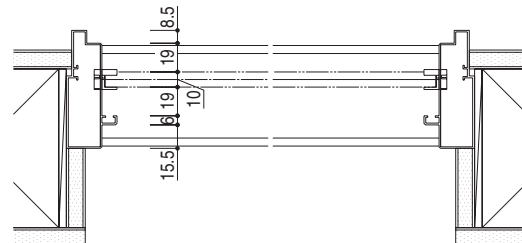
・アルミ枠(ピボット)

基本寸法 (mm)	片開き				
	W呼称	073	075	077	082
W(DW)	733(676)	752(695)	778(721)	823(766)	878(821)
有効開口	607	626	652	697	752
H呼称	18		20		
H(DH)	1.833(1.789)		2.033(1.989)		

●横断面図



ルーバー部 [アルミ枠(ピボット)通風機能付]



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

